

参議院議員

大河原まさこ

さんの想い、政策、プロフィールをご紹介します。

“共に生きる” 市民社会をめざして

“子どもたちに胸を張って手渡せる東京をつくりたい！”と活動した都議会議員 10 年の経験をもとに、この 6 年間、活動させていただきました。私の目標は、国政を生活者の視点で変えること、市民政治を国政で実現することです。民主党が標榜した“市民が主役”の政治の前提は情報公開の徹底と市民参画の拡大であり、生活者の実感に基づく政治の実現が今こそ求められています。

「コンクリートから人へ」という、“人への投資”を少なからず実現することが出来ました。格差が拡大し貧困の連鎖が進む日本の現状なればこそ、チルドレンファーストを標榜する政権の意味は大きいと確信しています。また、チェルノブイリ原発事故に始まった私の「脱原発」の思いは、国会議員として遭遇した福島原発事故で「原発ゼロ」への確信に変わりました。原発を安全に終息させ、省エネと再生可能エネルギーへのシフトを進めること、原発ゼロで日本をつくりかえることは、私の使命であると感じています。議員立法した「子ども・被災者支援法」で具体的な施策の実現に全力で取り組みたいと思います。

復帰した安倍自民党政権の危うさは、震災復興・防災に名を借りた公共事業のバラマキ、格差拡大と雇用の不安定化を助長する規制緩和、経済成長至上主義と改憲志向にはっきりと現れています。また、国民の権利を縛る間違った憲法観による勢力の拡大を許してはなりません。歴史と向き合い、“共に生きる”未来にむけての一步をしっかりと築きたいと思います。



大河原、雅子

大河原まさこ 8つの政策 ～共に生きる社会へ～

- 「グリーンエネルギー革命」で 原発ゼロ社会へ
- 食の安全を守り、「地産地消」で都市農業を推進
- 不要不急の公共事業は大きく見直し 地域ニーズに応えるインフラ整備
- 憲法96条改正にNO
- チルドレン・ファースト（子ども優先）
- 誰もが安心して受けられる 医療・介護・福祉
- 多様な人材が 支え合い、創り合う地域づくり
- 安心して働く場所の実現

【プロフィール】

1953年 横浜市生まれ。フェリス女学院高等学校、国際基督教大学教養学部卒。
映画・舞台製作会社に勤務。
結婚後、1男2女を育てる。
生活クラブ生協に加入したことを契機に、地域活動を通じて
食品の安全や環境問題への活動を続ける。
1993年 東京都議会議員（世田谷区選出）3期10年在任。
2007年 参議院議員選挙東京選挙区にて初当選（1,087,743票獲得、第1位当選）

好きな言葉：地球は未来の子どもたちからの預かりもの。

世代を超えて、地球規模で考え、地域から行動しよう！

信条：「よく遊び、よく学び」「嘘をつかない」「表裏のない人間になる」

〔参議院〕 予算委員、国土交通委員消費者問題特別委員
日本ユネスコ国内委員会委員

〔党 務〕 参議院副幹事長消費者・食品安全特別部門会議・事務局長

〔議連等〕 保育を考える議員連盟
公共事業チェック議員の会
チャイルドライン支援議員連盟
“食の安全”研究議員連盟
都市農業推進議員連盟
再生可能エネルギー・省エネ技術促進議員連盟
TPPを慎重に考える会
障害者政策推進議員連盟
統合医療を普及・促進する議員連盟

参議院議員選挙が行われます！

7月4日（木）公示 7月21日（日）投開票